

back in touch

触れ合いの再開



安全性強化のための
ダーマロジカの12原則

安全性強化のための ダーマロジカの12原則



**ダーマロジカは、顧客やスキンセラピストの安全を大切にします。
以下は、スキンサービスを安全に行う環境作りのためのガイドラインです。**

1. クライアントにいかなる病気もなく、ここ14日間に新型コロナウイルス(COVID-19)と判定された症例者と接触がないことを、事前に確認する。従業員の健康状態は良好であるべきであり、仕事のシフトに入る前に体温チェックを行う。
2. 高齢者や持病（基礎疾患）のある、ハイリスクや脆弱なクライアントには、トリートメントを受けないよう助言する。
3. 共有エリアでは、クライアント間の距離を2メートル離すというプロトコルに従うために、例えば、予約をずらしたり、建物の外でチェックインを行ったり、スキンケアセンターへの入場を制限したりする。
4. 共有エリアでは、クライアントも従業員もマスクを着用する。セラピストは各シフトで、乾いた清潔なマスクを着用する。1枚のマスクで複数のクライアントに対応することは可能だが、マスクの取り外しは衛生的な方法で行なわれなければならない。セラピストはクライアントに接近して接客をする時は、フェイスシールドを装着する。セラピストはシフト毎に、洗濯済みのエプロンか、使い捨てエプロンを着用する。
5. スキンケアセンターへ入る時は、手指消毒を行う。セラピストは、クライアントに接触する前後や、汚れたり滅菌していない用具や周辺のものに触れた後には、クライアントに見えるように20秒間、石鹸と水で手指洗浄する。接触を伴うトリートメントや肌分析は、フェイシャルクレンジングから始めるべきである。
6. クライアントからの要求や行政からの要請がない場合、丁寧に手指洗浄すれば手袋をする必要はない。手袋を使用する場合は、クライアントに接触する前後や汚れたり滅菌していない用具、周辺のものに触れた後にはクライアントの見える所で手袋を交換する。
7. 業務用製品は全て使用後毎回消毒し、使わない時はキャビネットや密閉容器に収納する。
8. トリートメント用ベッドは、各クライアントが入室する前に、清潔なペーパーかタオル、シーツで覆わなければならない。クライアント毎に、洗濯済みのブランケットを使用する。
9. 非多孔質の金属やプラスチック製の使い捨てではない備品の表面は、使用前に毎回全て洗浄し、消毒しなければならない。電気機器は電気機器が指定する洗浄液・消毒液等を布にしみこませて使用前に毎回拭く。
10. 清潔なものと汚れたものは、はっきりと印をつけた蓋のある容器に、見てわかるように分別しなければならない。
11. スキンケアセンター内の接触の多いエリアは全て、見て汚れている場合や、最低でも1時間に1回は消毒する。
12. 店販用のテスターは、使用前後に毎回消毒する。瓶に入っている製品は、今やテスターとして不適切である。テスターの製品を塗布するのは、手だけにする。

上記は推奨される指示であり、国または地方自治体の規制に加えて行われるべきであり、その代わりに行われるものではない。すべての政府の衛生および安全ガイドラインは、常に順守されなければならない。これらのガイドラインは、科学の進歩に適応する。新しい安全段階に進むと、これらの追加制限の一部が最小限に抑えられるでしょう。

創設者、最高ビジョン責任者からのメッセージ



私たちがより強い繋がりで一緒になることは、今や新しい意味を持っています。「新しい次のステップ」に進むことで、新たなダーマロジカトライブの準備が整います。私たちは変化を受け入れ、周りの勇気に触発され、この業界の新しいプロトコルで、私たちをより安全に保ちます。ダーマロジカは40年近くクライアントから信頼されてきました。そして私たちの最大の強みはあなた方、プロフェッショナルスキンセラピストです。あなたのクライアントと私たちの製品とプロトコルは最高の手にあります。それはあなたの手です。

JANE WURWAND
ジェーン ワーワンド

CEO(最高経営責任者)からのメッセージ



私たちダーマロジカの優先事項は、常にプロフェッショナルスキンセラピストの成功です。私たちは、皆さんの多くがサービスの提供を再開したいと考えているのを知っていて、あなたの熱意に触発されています。プロフェッショナルスキンセラピストが与える、専門知識、ヒューマンタッチ、繋がりは、コミュニティの健康にとって重要です。ダーマロジカは、業界をリードするプロフェッショナル スキンケアブランドとして、インターナショナルダーマルインスティテュート (IDI) を設立した1983年以来、新しい基準を設定することで業界のスタンダードを高めてきました。そしてこの度、私たちは業界に新しい安全基準を設定しました。これは、きっとクライアントと安全に繋がりを取り戻すのに役立つものと確信しています。

AURELIAN LIS
オーレリアン リス

更に安全なサービスを提供するための追記詳細



ご予約を入れる前に

従業員の健康状態は良好であるべきであり、仕事のシフトに入る前に体温チェックを行い、37.5°C以下であることを確認する。

クライアントが来店する前に、以下の点を含んだ（しかし以下の点に限定しない）質問を事前に確認することを推奨する。

- あなたは新型コロナウイルス（COVID-19）の検査を受け、結果が陽性でしたか？または過去14日間に陽性の人と接触がありましたか？
- あなたは新型コロナウイルス（COVID-19）の検査を受けて、現在は結果を待っている状況ですか？
- 以下の症状に当てはまるものはありますか？：
発熱、乾いた咳、体の痛み、頭痛、喉の痛み、息切れ、味覚や嗅覚の喪失、下痢
- あなた、もしくはあなたの身近な人はハイリスクカテゴリーに入りますか？

上記に当てはまるクライアントや、病気の症状があるクライアントが来店した場合は、サービスを取りやめるべきである。

日本厚生労働省における重症化しやすいハイリスクカテゴリーの定義（2020年5月現在）：

- 高齢者
- 全ての年齢の人：糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

【参考】アメリカ疾病予防管理センター（CDC）の定義（2020年5月現在）：

- 65歳以上の人
- 以下の持病（基礎疾患）を持つ全ての年齢の人：慢性的な肺疾患や中度から重度の喘息、深刻な心臓疾患、免疫障害、重度の肥満、糖尿病、慢性的な腎臓疾患があり透析を行っている、肝臓疾患

クライアントの到着と出発

- クライアントは到着した時に手指消毒をし、共有エリアではマスク着用をお願いする。
- クライアントを迎える時に、ハグ、握手などはしない。
- コンサルテーションで追加の質問がある場合は口頭で行い、セラピストが記録する。
- 共有エリアでの人数を制限するため、予約をずらす。共有エリアでのクライアントとセラピストの距離は2メートルを保つ。
- 飲み物は使い捨てのカップで提供し、使用後は直ちに処分する。
- 現金を触った場合は、手指消毒をする。Apple PayやGoogle Payなど、接触のない取引を行うよう促す。キーボードやタッチスクリーンを使用した場合は、使用後毎回消毒する。
- ホームケア処方と次回予約データはメールなどを使って送り、可能であれば紙製のカードやシートは避ける。

販売エリアと共有エリア

- 販促用のテスター製品は、使用後に毎回消毒するか、1回限りの使い捨てアプリケーターを用意する。
- 製品を瓶に詰め替えて、テスターとして使用するべきではない。
- 製品は顔よりも手に塗布する方が望ましい。
- レセプションデスクのように、表面が硬質素材の箇所や接触の多いエリアは、1時間毎に消毒する。

販売フロアでのサービス

フェイスフィットのように、販売エリアや共有エリアで行われる全てのサービスでは、以下の衛生手順に従うべきである。

- 共有エリアや販売エリアで使用される製品は、使用後毎回消毒し、使用しない時は、キャビネットや密閉容器に保管するべきである。
- 必要な用具、備品、補給品は、衣類やユニフォーム、ポーチなどに触れた状態で運ぶべきではない。



トリートメントルーム

- クライアントの衣服、履物、持ち物は、トリートメントの間、1回限り使用する使い捨ての袋に入れて収納するべきである。
- ドアの取手、照明スイッチ、スチーマーのアーム、製品など、全ての表面が硬質素材の箇所は、各クライアント毎サービスを行う前に機器が指定する洗浄液・消毒液等をしみこませた布で拭くべきである。
- 全ての業務用製品と店販用テストは、使用后毎回消毒し、使用しない時は、キャビネットか密閉容器に保管するべきである。
- トリートメントルームには、衛生管理エリアを設け、清潔な用具や補給品をすぐに使えるように準備しておくべきである。
- 清掃チェックリストを常に用意し、公共に提示しておくべきである。

トリートメントベッド・タオル・リネン

- トリートメントベッドは、各クライアント毎にサービスを行う前に、清潔なペーパーか、タオルか、シーツで覆わなければならない。
- タオル、シーツ、ローブ、リネン、スモックは、一度使用したら蓋つきの容器に入れ、適切な方法で洗濯と消毒をしてから使用するべきである。
- 全ての清潔なタオル、シーツ、ローブ、リネン、スモックは、清潔な扉付きのキャビネットや密閉容器に保管する。
- ベッドペーパーは1回限り使用し、使用後は蓋つきのゴミ箱に処分する。



用具・備品・補給品

- 電気機器以外は、水と洗剤で洗ってから消毒する。
- 電気機器以外は、国、自治体で登録されている殺菌、抗真菌、抗ウイルス作用のある消毒液に、30分以上完全に浸すべきである。国より要請される場合は、その後、乾熱風で殺菌する。

※日本での理容師法施行規則及び美容師法施行規則による消毒方法は
10分以上、消毒液に浸す。

- 電気機器は、登録されている抗菌、抗真菌、抗ウイルス作用のある消毒液を染み込ませた布で拭く。
- 浸漬洗浄に使用する消毒液は、はっきり印をつけ、毎日取り替えるべきである。
- 消毒済みと、汚れたアイテムは、はっきり印をつけた蓋つきの容器に、別々に保管しなければならない。
- 全ての使い捨てアイテムや小物は、一度使用したら蓋つきの廃棄物コンテナに捨てるべきである。
- 新しい補給品や使い捨てアイテムは、『新品』とマークされた清潔な蓋つきの容器に保管するべきである。
- 用具、備品、補給品は、衣類やユニフォーム、ポーチなどに触れた状態で運ぶべきではない。



個人衛生・手指洗浄・保護具

- 乾いた清潔なマスクをしっかりとフィットさせ、全てのトリートメントとクライアントとの接客の際に着用する。マスクは1名以上のクライアントに使用できるが、着けたり、外したり、取り扱うときには、衛生的に行わなければならない。濡れたり、汚れたりしているマスクは交換するべきである。使用済みのマスクは、蓋つきのゴミ箱に捨てる。
- セラピストは、クライアントに接触する前後、汚れたり滅菌していない用具に触れた後や、取り付けられた備品や表面に触れた後に、クライアントに見えるように丁寧に手指洗浄を行わなければならない。
- 手袋を使用する場合は、クライアントに接触する前後、汚れたり滅菌していない用具に触れた後、取り付けられた備品や表面に触れた後に、クライアントが見える所で交換するべきである。
- セラピストは、各トリートメントで、洗濯済みのエプロンか使い捨てのエプロンを着用する。
- マスクは感染を防止する良い方法であり、セラピストに対してクライアントからの感染リスクを低減することになる。しかし、トリートメント中、クライアントはマスクを着用しないので、セラピストを保護するために防護手段を考えなければならない。クライアントに接近して接客する時には、マスクとフェイスシールドを着用して行う。



Step 1
手を洗う



Step 2
マスクを外す



Step 3
使用済みのマスクを
3回以上半分に折る



Step 4
適切に処理する



Step 5
再度手を洗う

化粧室

- 化粧室は3時間毎に清掃し、クライアントの見えるところにあるチェックリストに「清掃済み」と記入する。
- 化粧室に、手指洗浄のやり方をはっきりと明示するべきである。
- 界面活性剤ベースのハンドウォッシュと手指消毒液が常に使えるようすべきである。

スタッフエリアや休憩室

- 表面が硬質素材の箇所や頻繁に触れるエリアは全て1時間毎に消毒するべきである。
- 電話、バッグ、履物などの個人のアイテムは、扉付きのロッカーか使い捨ての袋に入れて保管されるべきである。
- 全てのセラピストが、外で着用した衣服（例：公共の交通手段で通勤する時に着用した衣服）でトリートメントを行わないようにすることが望ましい。
- 皿、ナイフ、フォークなどの食器類は使い捨てのものを使用するか、はっきりとスタッフのマークをつけ、使用後は直ちにお湯と界面活性剤ベースの洗剤で洗浄し、保管するべきである。
- 手指消毒液は、全てのスタッフが利用できるようにするべきである。
- 座席やテーブルは、ソーシャルディスタンスを保つべきである。スタッフのシフトはずらすことを考慮する。

頻繁に接触のある表面と殺菌消毒

- 頻繁に接触のある表面には以下が含まれるが、これに限定されるものではない：ドアノブ、照明スイッチ、洗面所の蛇口ハンドル、トイレを流すハンドル、トイレ周辺の壁、リモコン、電話

日本国内の新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインについて

- 内閣官房の業種ごとの感染拡大予防ガイドライン
<https://corona.go.jp/>
- 業種別ガイドラインについて（PDF）
https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline_20200514.pdf

【参考】

アメリカ合衆国環境保護庁が、コロナウイルスを殺菌するのに適していると認めている製品リストは、www.epa.gov/pesticide-registration/list-n-disinfectants-use-against-sars-cov-2 に掲載されている。

上記は推奨される指示であり、国または地方自治体の規制に加えて行われるべきであり、その代わりに行われるものではない。すべての政府の衛生および安全ガイドラインは、常に順守されなければならない。これらのガイドラインは、科学の進歩に適応する。新しい安全段階に進むと、これらの追加制限の一部が最小限に抑えられるでしょう。

dermalogica

クリーンタッチ チェックリスト

- レセプションデスクのように、表面が硬質素材の箇所や接触の多いエリアは、1時間毎に消毒する。
 - これには、ドアの取手、照明スイッチ、スチーマーのアーム、製品などが含まれ、表面が硬質素材の箇所は、各クライアントにサービスを行う前に機器が指定する洗浄液・消毒液等をしみこませた布で拭くべきである。
- クライアントが来店する前に、健康状態について事前の確認を行うべきである。
 - コンサルテーションで追加の質問がある場合は口頭で行い、スキンセラピストが記録する。
- クライアントとスタッフは到着した時に手指消毒をし、共有エリアではマスクをするように要請すべきである。
- 各シフトで、乾いた清潔なマスクを着用する。
- セラピストは、クライアントに接触する前後、クライアントに見えるように石鹸と水で手指洗浄する。
- 店販用のテスター製品は、使用後に毎回消毒するか、1回限りの使い捨てアプリケーションを用意する。
 - 製品は顔よりも手に塗布する方が望ましい。
- 全ての業務用製品と店販用テスター製品は、使用後毎回消毒し、使用しない時は、キャビネットか密閉容器に保管するべきである。
- 用具、機器、消耗品は、安全基準に従って、使用する前、1回ごとにしっかりと消毒する必要がある。トリートメントルームには、衛生管理エリアを設け、清潔な用具や補給品をすぐに使えるように準備しておくべきである。
- 全ての清潔なタオル、シーツ、ローブ、リネン、スモックは、清潔な扉付きのキャビネットや「新品」とマークをつけた密閉容器に保管する。
- クライアントの衣服、履物、持ち物は、トリートメントの間、1回限り使用する使い捨ての袋に入れて収納するべきである。
- タオル、シーツ、ローブ、リネン、スモックは、一度使用したら「使用済み」とマークをつけた蓋つきの容器に入れ、適切な方法で洗濯と消毒をしてから使用するべきである。
- 接触を必要としない支払い取引を行うよう促す。
 - 接触のない取引を行うよう促すためにデジタルでの支払い、アプリを推奨する。
 - 現金を触った場合は、手指消毒をする。キーパッドやタッチスクリーンを使用した場合は、使用後毎回消毒する。
 - ホームケア処方と次回予約データはメールなどを使って送り、可能であれば紙製のカードやシートは避ける。

dermalogica

dermalogica

dermalogica.co.jp

タカラベルモント株式会社
〒107-52 東京都港区赤坂7-1-19
TEL: 03-3403-0367
FAX: 03-3403-0368

dermalogica
事前にダーマロジカの文書による許可
なしに、このマニュアルのどの部分に
おいても複製を禁じます。